

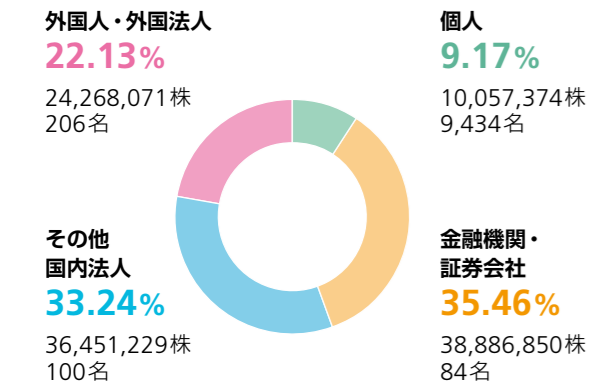
株式の状況

(2016年3月31日現在)

発行済株式総数 109,663,524株

株主総数 9,824名

所有者別分布状況



大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
大日本印刷株式会社	20,727	18.90
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	11,500	10.48
三井物産株式会社	9,798	8.93
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	6,683	6.09
農林中央金庫	4,653	4.24
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	4,283	3.90
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	3,885	3.54
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	3,402	3.10
日本ユニシス従業員持株会	2,434	2.21
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	1,972	1.79

* 上記の他、当社は自己株式3,034,316株(持株比率2.76%)を保有しています。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会および期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00～17:00 (土日祝日を除く)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 http://www.unisys.co.jp/com/notification/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場合 は、日本経済新聞に掲載して行います。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード8056)

- 証券会社に口座を開設されている株主様が、ご住所等の変更や単元未満株式の買取その他の各種お手続きを希望される場合は、口座をお持ちの証券会社にお申し出ください。
- 特別口座で管理されている株式についての各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行にお申し出ください。

Copyright © 2016 Nihon Unisys, Ltd. All rights reserved.



Forest Stewardship Council®
(森林管理協議会)の基準に基づき
認証をされた、適切に管理された
森林からの材料を含むFSC®認証紙
を使用しています。



印刷時に、VOC(揮発性有機化合物)などを
含む湿し水が不要と
なる水なし印刷を採用し、
大気保全に配慮して
います。



石油系溶剤の一部を
植物油に置き換えたベ
ジタブルインキを使用
し、VOC(揮発性有機
化合物)を削減し、大気
保全に配慮しています。



ユニバーサルデザイン
(UD)の考え方に基
き、より多くの人に見
やすく読みまちがえに
くいデザインの文字を
採用しています。

UNISYS 日本ユニシス株式会社

株主通信

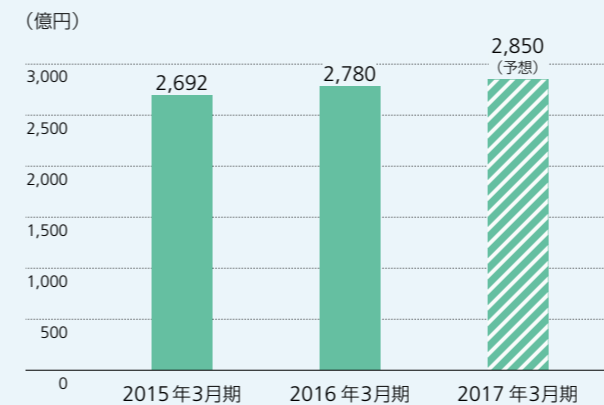
第72期 報告書

2015年4月1日～2016年3月31日

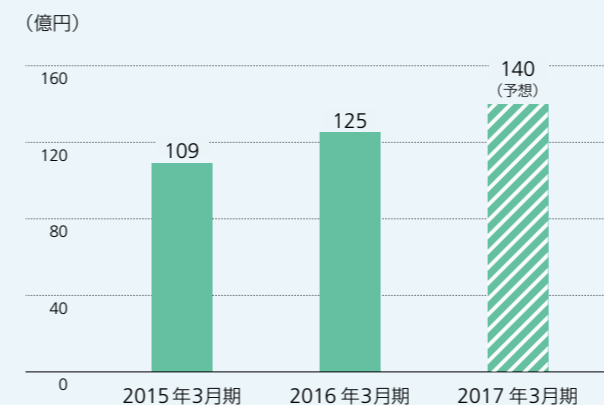
Foresight in sight

業績ハイライト

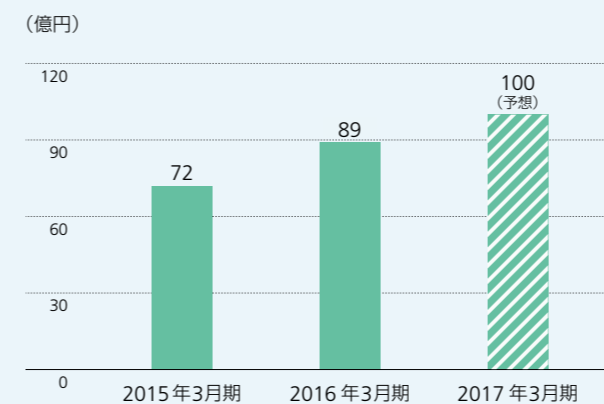
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益



ごあいさつ



ビジネスエコシステムで 社会課題の解決をめざします

株主のみなさまにおかれましては、平素より格別
のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、2016年4月1日付で代表取締役社長
に就任いたしました。株主通信の発行にあたり、
株主のみなさまにごあいさつ申し上げます。

日本ユニシスグループは、2020年に向けた
コーポレートステートメント“Foresight in sight®”
を策定いたしました。これは、業界の変化やお客
様のニーズを予見し、それらを深く理解し、知恵や

発想、ICTを組み合わせる最適なサービスやビ
ジネスモデルを提供していこうというメッセー
ジを込めたものです。

また、2016年3月期から3か年の中期経営計画
「Innovative Challenge Plan」を進めており、
チャレンジ領域である「デジタルイノベーション」、
「ライフイノベーション」の拡大と、それらを支える
「ビジネスICTプラットフォーム」の変革を重点戦
略として掲げております。初年度である当期は、
前期比で増収・増益となり、今後につながる成果
がいくつも出てきた1年となりました。

なかでも、異業種をつなぐことで新たなサー
ビスを生み出し、社会課題の解決をめざす「ビ
ジネスエコシステム」の創出に注力しており、事業
化に向けたプロジェクト数は目に見えて増加して
おります。2年目となる2017年3月期も、チャ
レンジと変革をさらに加速させてまいります。

今後も事業を通じて社会・株主のみなさまに
貢献したいと考えておりますので、株主のみなさ
まには末永くご支援賜りますよう、宜しく願い
申し上げます。

2016年6月
代表取締役社長

平岡昭良

2016年3月期 連結決算のポイント

業績のポイント

売上高は、システムサービスおよびハードウェア売上が堅調に推移した結果、2,780億円（前期比3.3%増）となりました。利益面につきましては、増収効果に加え、コスト削減に努めた結果、営業利益は125億円（同14.6%増）、当期純利益は89億円（同23.1%増）となりました。

財務のポイント

総資産は、退職給付に係る資産の減少等により、前期末比67億円減少の1,931億円となりました。負債は、転換社債型新株予約権付社債の株式への転換等により、159億円減少の1,019億円となりました。純資産は912億円となり、自己資本比率は46.8%となりました。

2017年3月期 業績予想と配当計画

2017年3月期の売上高は、2,850億円を計画しています。利益面については、営業利益140億円、当期純利益100億円をそれぞれ計画しています。2017年3月期の配当につきましては、当期純利益100億円を前提に、1株当たり5円増額の年間35円（中間17.5円、期末17.5円）を計画しています。

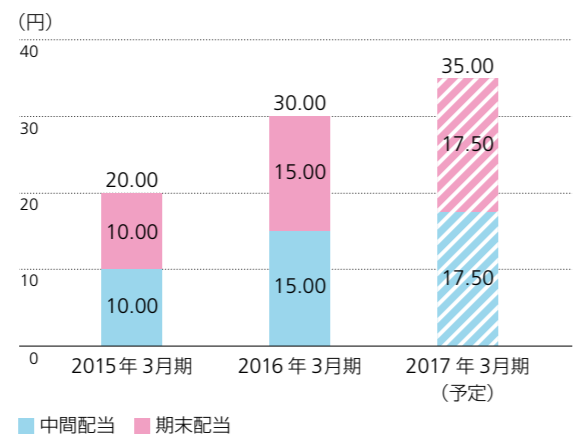
業績の推移

	2015年3月期	2016年3月期
売上高	269,154	278,039
売上総利益	63,442	64,610
販売費及び一般管理費	52,517	52,085
営業利益	10,924	12,525
経常利益	12,371	12,155
親会社株主に帰属する当期純利益	7,246	8,920

財務の推移

	2015年3月期末	2016年3月期末
流動資産	122,573	122,520
固定資産	77,198	70,574
資産合計	199,772	193,094
流動負債	77,648	75,273
固定負債	40,148	26,608
負債合計	117,796	101,881
純資産合計	81,975	91,213
負債純資産合計	199,772	193,094

株主還元（1株当たり配当金の推移）



株主通信
トピックス

日本ユニシスの成長戦略

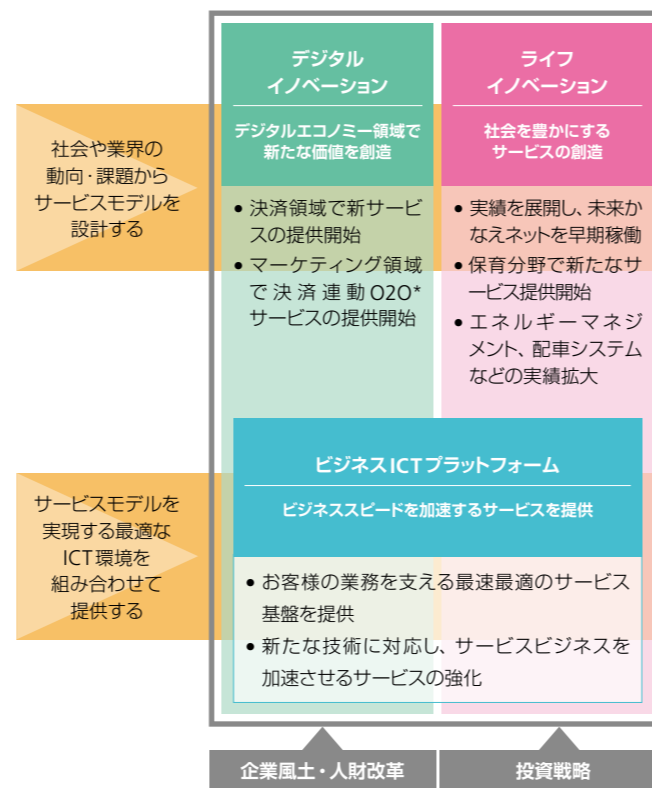
～中期経営計画「Innovative Challenge Plan」～

このトピックスでは、2015年度の代表的な取り組みと今後のビジネスを支える新しい取り組みについてご紹介します。

2015年度の取り組み

中期経営計画「Innovative Challenge Plan」

「ビジネスをつなぎ、サービスを動かす。ICTを刺激し、未来をつくり出そう。」



* O2O: オンライン・トゥ・オフライン、オフライン・トゥ・オンライン
ECサイトやソーシャルメディアなどインターネットベースのプラットフォーム（オンライン）と店舗・販売店・リアルイベント（オフライン）における顧客の購買活動を、双方向に連携・融合させるための施策。

デジタルイノベーション

「国際ブランドデビット 決済サービス」の提供を開始

日本ユニシスと大日本印刷は、「国際ブランドデビット」の導入・運用に必要な取引処理、会員管理、勘定系システムとの連携、夜間サービス代行などの機能を提供する「国際ブランドデビット 決済サービス」の提供を開始しました。両社は国際ブランドの電子決済サービス分野で協業しており、前払い（プリペイド）方式の「国際ブランドプリペイド」に続いて、即時払い方式の「国際ブランドデビット」についても、カードの製造から発行、業務受託（BPO）サービス、決済連動マーケティングまで組み合わせたサービスを、ワンストップで提供します。

2016年4月1日より、本サービスの国内でのファーストユーザーとして、北國銀行がVisa payWave®* 付きデビットカード「北國Visaデビットカード™」の発行を開始しました。

* Visa payWave (Visa ペイウェーブ): ビザ・ワールドワイドが提供する非接触型決済ソリューション。



クラシック



ゴールド

ライフイノベーション

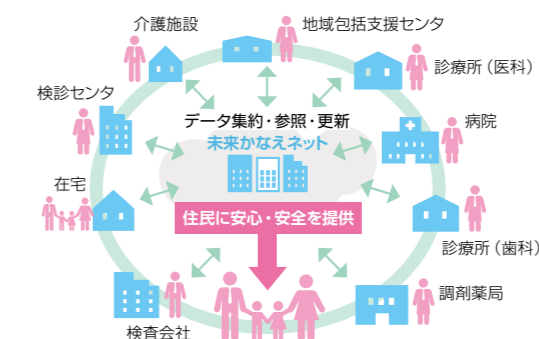
気仙医療圏における地域医療・介護ネットワーク「未来かなえネット」利用開始

日本ユニシスは、未来かなえ機構が運営する気仙医療圏における地域医療・介護ネットワーク「未来かなえネット」を構築しました。これは、新潟県佐渡島で構築した「さどひまわりネット」に続く2つめの事例となります。

「未来かなえネット」の特徴は、以下のとおりです。

- ① 病院、診療所（医科、歯科）、薬局、介護サービス事業所が保有している情報を「未来かなえネット」で管理・集約し、病院、診療所、薬局、介護サービス事業所などの参加施設間で、双方連携を実現
- ② 「未来かなえネット」に参加する病院、診療所は、新たに電子カルテシステムを導入する必要がなく、導入済みシステムからレセプトデータや検査・画像データなどを収集
- ③ 住民データの紐付け作業などデータ連携が自動化することにより、運用コストを削減

今後も継続して「未来かなえネット」を支援し、気仙医療圏における医療介護品質の維持・向上に貢献していきます。また、同地域での実績を踏まえ、全国の他地域に対しても多職種双方向連携システムの提供をめざしていきます。



日本ユニシス実業団バドミントン部「第106回全英オープン」において快挙！リオデジャネイロ五輪の出場権を獲得！



2016年3月13日、イギリスで行われた「第106回全英オープン」において、女子シングルス奥原希望と、女子ダブルス高橋礼華・松友美佐紀ペアが初優勝を果たしました。日本人の女子シングルス優勝は39年ぶり、女子ダブルス優勝は38年ぶりの快挙です。また、男子ダブルスでは、早川賢一・遠藤大由ペアが3回目の準優勝を果たしました。

また、上記5名を含む7名の選手がリオデジャネイロ五輪の出場権を獲得。日本バドミントン界初の金メダル獲得を狙います。応援のほどよろしくお願ひいたします。



リオデジャネイロ五輪出場メンバー（後列左から）早川賢一、遠藤大由、数野健太（前列左から）栗原文音、高橋礼華、松友美佐紀、奥原希望